

令和6年労働組合基礎調査（和歌山県分）の結果概要

- 1 本県の労働組合数は、399 組合で、前年同期に比べて 7 組合減少し、労働組合員数は、51,029 人で前年同期に比べて 619 人減少した。（第 1 表）
- 2 県下の主要団体別の労働組合員数は、連合和歌山 34,699 人（169 組合）、県地評 6,144 人（104 組合）
適用法規別の労働組合数及び組合員数は、労働組合法適用組合が 314 組合・37,817 人、行政執行法人の労働関係に関する法律適用組合が 3 組合・201 人、地方公営企業労働関係法適用組合が 2 組合・141 人、国家公務員法適用組合が 17 組合・403 人、地方公務員法適用組合が 63 組合・12,467 人（第 2 表）
- 3 県内労働組合員の各産業に占める割合は、「製造業」が 20.31%と最も高く、次いで、「卸売業，小売業」18.78%、「公務」17.69%の順
県内の主要団体の加盟組合員の各産業別に占める割合は、連合和歌山では、「卸売業，小売業」が 25.28%と最も高く、次いで「製造業」が 22.89%、「公務」が 21.48%の順となっており、県地評では、「教育，学習支援業」が 37.24%と最も高く、次いで「医療，福祉」が 29.36%、「公務」が 11.56%の順（第 3 表）
- 4 地区別では、和歌山市に 212 組合（53.13%）とほぼ半数が存在（第 4 表）
- 5 規模別では、29 人以下の組合員で構成されている組合が 177 組合（44.36%）となっている。（第 5 表）
- 6 県内の労働組合数が最も多かったのは、平成 2 年の 641 組合で、労働組合員数が最も多かったのは昭和 49 年の 96,171 人
労働組合数及び労働組合員数の長期的な推移をみると、ともに減少傾向である。（第 6 表）